

三島の“うんめもん”を満喫 「えちご長岡 地酒塾」

長岡地域広域行政組合主催の「えちご長岡地酒塾」

長岡地域広域行政組合主催の「えちご長岡地酒塾」の参加者一行が、2月24日、25日の両日、三島町を訪れました。



この催しは、長岡地域13市町村の観光資源を圏域外にアピールしようと、同組合の観光部会がJR東日本協力で実施したもの。13の市町村それぞれに観光コースが設定され、「三島町うんめもんコース」には、主に首都圏在住者23名の参加がありました。

初日の24日、一行は脇野町の酒蔵を見学し、大吟醸や純米酒、本醸造など製造の違いの説明を聞いたり、利き酒をしたりして、旨さを堪能。食の交流会では、町長、議長を中心とした地元の世話役の皆さんと、郷土料理を囲んで交流会がもたれました。翌日は、麺製造の工程や郷土資料館の見学の後、もちつき大会。つきたてのもちやうどん、漬物などが振る舞われ、参加者は舌鼓を打っていました。



町のすがた

(3月1日現在)

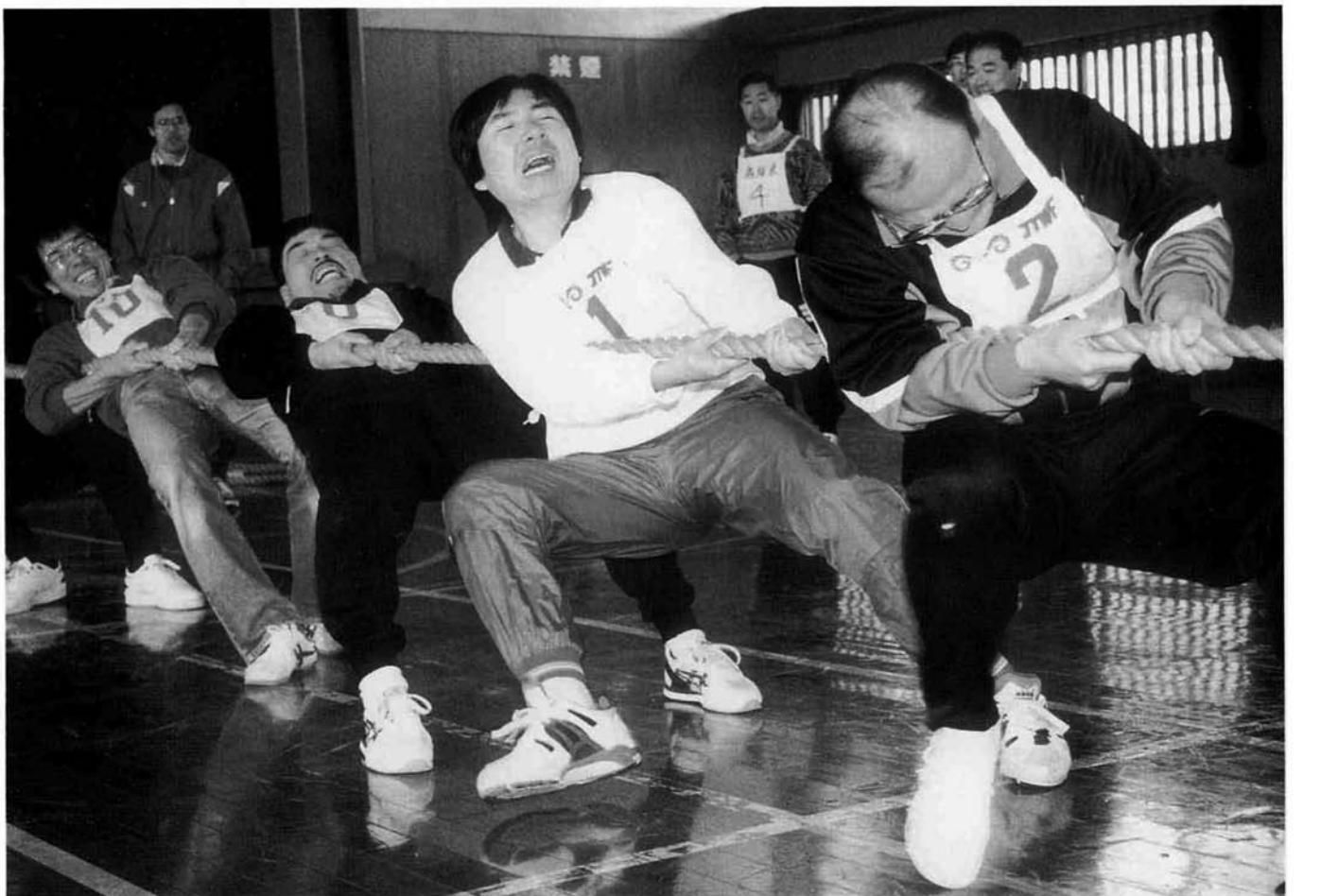
人口	男 3,469人 (+1)
	女 3,743人 (+8)
計	7,212人 (+9)
世帯数	1,875 (±0)

()は2月1日との比較

3

第336号

平成8年3月21日
発行 新潟県三島郡三島町役場
■ (0258) 42-2221
印刷 長岡市あかつき印刷



8人寄れば100万馬力 第6回 町民綱引大会

今年で6回目となる町民綱引大会が、3月3日、町体育館で行われました。

体重制限付き、本格的ルールのもと、練習を重ね優勝をねらうチームもあれば、「参加することに意義あり」をモットーとするチーム、パワーが自慢のチームや、チームワークで勝負するチームなど、9チームが参加し、熱戦を展開しました。

結果は次のとおり。

優勝 七日市B型チーム 3位 新保ファイターズチーム
準優勝 七日市A型チーム 3位 高原東チーム

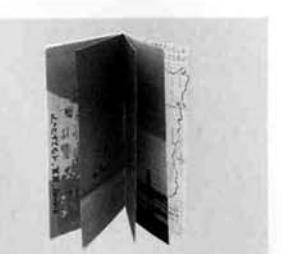


「越後のまん中、夢発信基地」

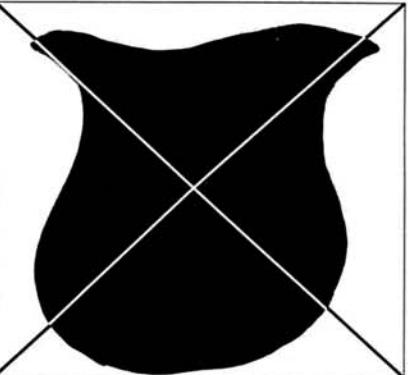
長岡地域広域行政組合のキャッチフレーズが決まりました。「越後のまん中」で位置を表し、そこから、地域と人、未来の夢を発信する様子を表しています。

長岡地域広域行政組合

▼企画調整課で町の花カタクリ、ハナミズキと蓮花寺のオオスギの名刺(4種類)の販売を始めたところ、数人の方が買い求められました。名刺といえば、最近は官民を問わず、デザイン化されたロゴマークやカット、写真など工夫を凝らしたユニークな名刺が実際に多くなりました。名刺は自分を初対面の相手に印象づける武器の一つ。當業関係の人であれば、会社を売り込む道具といつてもいいでしょう。▼広報担当も研修や各交流会でこれまでいろいろな方々に行政関係者と名刺を交換してきました。ここにA県W町の元広報担当者の名刺があります。(写真)表裏合わせて8ページにわたる豆本スタイルの「ながら」名刺です。これには氏名、所属のほか、町の地図、特産品、町出身の著名ななどの紹介などが印刷されています。自分を売り込むことのよしあしについては「一方には「キザだ」とか、「自己顯示欲が強すぎる」といった批判もあるでしょう。が、こうした名刺をもらった人は、一生忘れないでしょう。いい意味で自分を相手に印象づけ、「町を売り込む」。こうしたスピリット(精神、心がけ)は広報担当として見習いたいものと思った次第です。▼4月は転勤、異動などで、名刺を新しくする人も多いと思います。「三島」を売り込む名刺で自分を売り込む名刺を」という方は、企画調整課



広報みしまは森林資源保護のため、再生紙を使用しています。



4月から黒いごみ袋が使用できなくなります



ごみ袋には 透明か半透明の袋を

中身が識別できる
袋を使ってください。



これまで、黒い袋だけではなく、
青や黒の色のついた袋、ダンボーリなどが多く利用されていました。この場合、ビンやカン、古紙などの資源や、爆発などの危険のある物が入っていても見分けることができませんでした。資源がごみとなってしまうことはもちろん、分別されないものが焼却炉や破碎機に持ち込まれると、処理能力の低下や、故障の原因になります。

ごみ袋には透明または、半透明の袋を使用してください。スーパー等の買い物袋を使用してもかまいませんが、特別色の濃いものや厚地のものは使用できません。

ごみ処理豆知識

●使わず、捨てず、回収に協力を●

昨年6月、容器包装リサイクル法（容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律）が国会で成立し、2年後に施行されます。

この法律は、市町村、事業者、消費者がそれぞれに責任をもち、リサイクルの役割分担をしていくことを決めたものです。市町村は容器包装の分別回収を進めることで、また、事業者は分別収集された容器包装廃棄物を再商品化することで、リサイクルに参加します。

では、消費者は？まず、ごみになってしまうようなものはなるべく使わない、家庭内で再利用できるものは捨てずにリサイクルする、分別収集に協力するなどの方法があります。

みんなで協力してごみを減らし、快適な生活環境をつくっていきましょう。

●なかなか進まぬリサイクル●

一般廃棄物をリサイクルすれば、ごみの量は着実に減っていきます。ごみをごみとして処分するではなく、再利用できるものは回収し、資源として活用していくというわけです。ところが、市況の変動などの影響を受けて、一般廃棄物のリサイクル率は3.4%にとどまっているのが現状です。工場などから出るごみ、いわゆる産業廃棄物のリサイクル率が39.6%であるのに比べ、かなり低い率になっています。

住民のみなさんの ご理解、ご協力を

県内でも多くの市町村が黒いごみ袋の使用禁止、または使用的自粛を呼びかけています。全国的にみても、黒いごみ袋の使用は、禁止の方向に動いています。

三島町でも、長岡地区衛生処理組合を構成している長岡市、越路町と歩調を合わせ、4月から黒いごみ袋の使用禁止に踏み切ります。

ごみ袋の使用禁止、または使用的自粛を呼びかけています。全国的にみても、黒いごみ袋の使用は、禁止の方向に動いています。

ごみ袋の使用禁止、または使用的自粛を呼びかけています。全国的にみても、黒いごみ袋の使用は、禁止の方向に動いています。

ごみ処理についての問い合わせは、
住民課保健衛生係（内線243）へ。

4月1日から、燃やすごみ、燃やさないごみを問わず、ごみを出す際に使用するごみ袋について、黒いごみ袋、段ボール、紙袋の使用を全面的に禁止させていただきます。

これまで、各家庭から出されるごみ袋については、ビニール袋や段ボール、紙袋等ごみをきちんと収納できるものであれば形、色などどんなものでも収集の対象としていましたが、中身の見えないごみ袋を使用したため、ごみの分別収集が徹底されなかつたり、出してはいけない危険物が混入していても発見できなかつたりして、問題がありました。

今回の措置はこれらの問題の解消と、ごみの減量化、リサイクル化をさらに進めるためのものです。

禁止とする理由

- 分別収集の徹底

燃やさないごみの中に資源ごみが混入しないよう、各家庭から出される段階で分別収集の徹底を図り、ごみの減量とリサイクルを進めます。

袋の中にガスの残ったままのスプレー缶等が混入していると、粗大ごみ処理施設で爆発を誘発することがあります。中身の見える袋は、その点検作業を容易にします。

粗大ごみ処理施設の爆発事故防止

袋の中のガスの残ったままのスプレー缶等が混入していると、粗大ごみ処理施設で爆発を誘発することがあります。中身の見える袋は、その点検作業を容易にします。

ごみ収集場所の美観保持

中身の見えるごみ袋で、正しいごみの出し方をしてもらうことは、収集場所の美観を保持します。そのことが、きれいに住みやすいまちづくりにもつながります。

みが燃えるという事故もあります。このような危険を防止するものです。

三島町母子・父子家庭等 援助事業について

及び寡婦以外の方
◎問い合わせは、福祉課へ。

ん、平成7年度（平成7年4月から平成8年3月まで）の国民年金保険料の納め忘れはありますか。確認してみてください。

そのときの社会情勢に応じた額に保っていかなければなりません。そのため保険料は段階的な引き上げが必要となります。

俳句

川岸に芽もふくらみぬ猫柳

遠藤結城老松

枯葉一本づつの雪の原

大滝善風

室花の頬一様に外を向き

小林守門

虎落笛聞いてるのみの静もれる

難波千代女

雪晴間束のごとくに日の光

木戸恵津

凍つても水流るや川の芯

桜井草子

虎落笛聞いてるのみの静もれる

難波千代女

雪晴間束のごとくに日の光

木戸恵津

凍つても水流るや川の芯

桜井草子